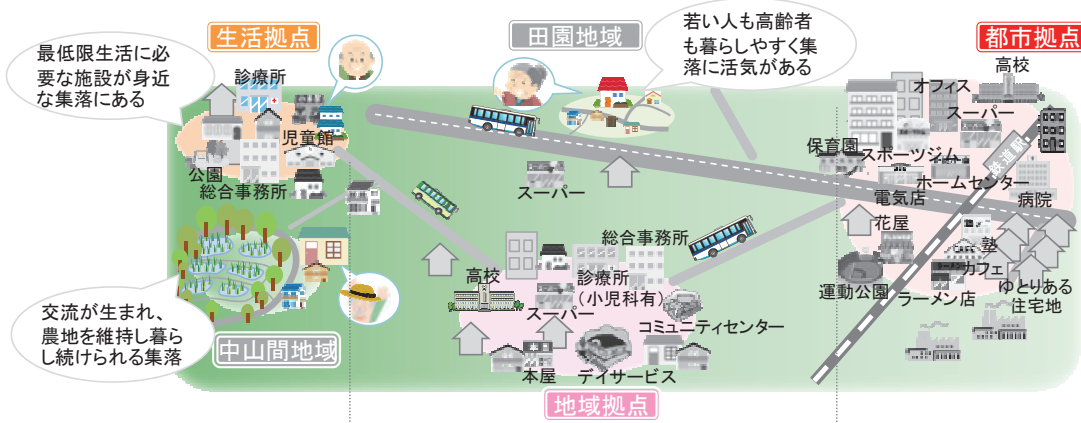


生活拠点・集落の場合

将来



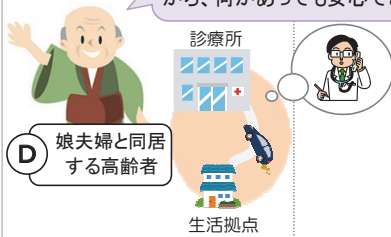
最低限生活に必要な施設が身近な集落にある

若い人も高齢者も暮らしやすく集落に活気がある

交流が生まれ、農地を維持し暮らし続けられる集落

<生活拠点>

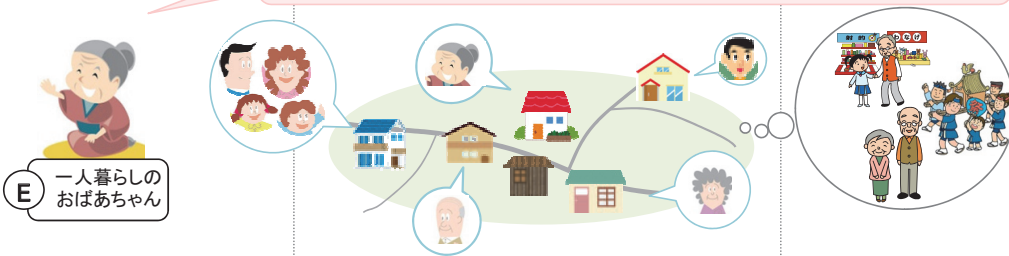
近くの拠点に医者がいてくれるから、わざわざ市街地に行かなくてもいいし、自分の運転でもいける。診療所まではコミュニティバスやデマンドタクシーなどによりアクセスが確保されているから、何かあっても安心できる。



D 娘夫婦と同居する高齢者

<田園地域の集落>

集落にある空き家に、若い家族が引っ越してきた子どももいるし、集落に活気がうまれた！



E 一人暮らしのおばあちゃん

<中山間地域の集落>

景観が保全され、観光客がきてくれる。都会から田舎体験で子どもたちも来てくれるし、交流もうまれて生活にいきがいをもてる。草刈りや雪下ろしなど、ボランティアに来てくれる人も増えたり、毎日充実した暮らしができる！



F 一人暮らしのおじいちゃん

第2節 まちづくりの基本方針

ここでは、上越市が目指す将来都市像、将来都市構造の実現に向けて、商業・工業や農業、観光、防災など様々な分野で連携して進めるまちづくりの基本方針を示します。

1 活力のあふれるまちづくりの推進

- 陸・海の交通ネットワークを活かし、上越地域の交通の要衝にふさわしい快適で充実したまちづくりを推進します。
- 幹線道路*、生活道路*、下水道、都市公園*、ごみ処理場などの都市基盤*の効率的・効果的な整備や維持管理を推進し、住み続けられる環境の形成を目指します。
- 市内の工業・物流集積地や、これまで整備された産業団地などの既存の産業基盤を活用しながら、地域の雇用や産業規模の維持を目指します。
- 社会経済情勢などの時代に応じて変化する市民ニーズに柔軟に対応し、活力ある市民生活を持続的に支えるまちづくりを推進します。
- 長期的な見通しの下、厳しい財政状況を踏まえた財政投資・運用により、効率的・計画的な都市行政の運営を目指します。

2 拠点とネットワークを強化するまちづくりの推進

- 市内の円滑かつ安全・安心な交通環境の維持・形成を進めます。
- 拠点同士のネットワークの形成により、地域間交流を促進させ、総合力の高いまちを目指します。
- 冬期間の安全・安心な道路空間を確保するため、雪国の特性に配慮する交通ネットワークの形成を推進します。